

## <ノイズ対策のための> 接地・グラウンド・シールド技術

ノイズトラブルに見舞われた際に、接地の変更を試みた事はありませんか？ それによってノイズ障害が改善したり、かえって障害が悪化したり、まったく変化しない事もあります。何故そのようなことが起きるのでしょうか？

- ・ノイズ障害の多くは接地によって改善することはありません。
- ・ノイズ対策で重要なのは「グラウンド」です。
- ・失敗の少ないノイズ対策の第1歩は接地とグラウンドの理解が必要です。

本セミナーでは接地に関する様々な都市伝説の謎を解きながら、ノイズ対策の実践技術についてわかり易く解説致します。

◆日 時： 令和4年1月28日(金) 13:30~16:30 (13時15分より入室開始)

◆手 法： オンライン開催 (Cisco Webex Meetings 使用予定)

【ツール】 アプリ、もしくはブラウザから参加できます。使用可能なブラウザなどの詳細については以下をご確認ください。

<https://help.webex.com/ja-ip/9eed9t/Get-Started-Joining-a-Meeting-Event-or-Training-Session-with-the-Webex-Meetings-Web-App>

参加方法は、お申込みいただいた方に追ってご連絡致します。

◆講 師： 株式会社電研精機研究所  
ノイズトラブル相談室長 平田 源二 氏

### ◆講演内容

1. ノイズ対策は「リターンループ」を調べ「リターンルートの変更」を行う。
2. 接地の歴史的背景と目的。
3. 日本の接地方式がノイズ対策に不利な理由。
4. EMI規格をクリアしてもノイズ障害が起きる要因。
5. シールドの末端処理の考え方。
6. 差動伝送の弱点はコモンモードノイズ。
7. インバータ・サーボ機器のノイズ対策と接地。
8. グラウンドと接地は明確に分けて考えよう。
9. シングルエンドを基本としたノイズ対策「ノーマル化」。

◆主 催： 大阪府電磁波利用技術研究会

◆共 催： 近畿EMC研究会、(地独)大阪産業技術研究所

◆参加費：無料

◆定 員：WEB配信 80名

◆申し込み方法： 次の申し込み専用ページからお願いします

<https://jp.surveymonkey.com/r/7KBHVKQ>

◆申し込み期限： 2022年1月21日(金) (ただし定員に達し次第、締め切ります)

◆問い合わせ先：(地独)大阪産業技術研究所 和泉センター内

大阪府電磁波利用技術研究会 事務局 denjiha@dantai.tri-osaka.jp